

泉佐野市民の人権に関する意識調査業務委託公募型プロポーザルに係る質問及び回答

項目	質問主題	質問内容	回答
①	調査票の印刷	調査票の作成（A4版、12ページ程度）とございますが、令和4年「泉佐野市民の人権に関する意識調査報告書」の調査票を拝見すると調査票20ページとなっておりますが、こちらは12ページでお間違いないでしょうか。	調査票はA4版12ページ程度を想定していますが、あくまで目安です。前回調査との経年比較に加え、近年の社会情勢や新たな人権課題に対応するため新たな設問を設ける予定であり、調査内容を十分に精査したうえで設問を決定します。その際、回答者の負担軽減や読みやすさにも配慮し、できる限り12ページ程度に収まるよう設計しますが、設問内容に応じてページ数は増減する場合があります。
②	分析	経年比較について、平成27年と令和4年の「泉佐野市民の人権に関する意識調査」と経年比較を行うという認識でお間違いないでしょうか。	平成27年度及び令和4年度に実施した「泉佐野市民の人権に関する意識調査」との経年比較を行うとともに、調査結果の分析に当たっては、必要に応じて国及び大阪府が実施した人権に関する意識調査との比較分析を行うことを想定しています。
③	学識経験者との協議	学識経験者との協議は何回程度、どのようなタイミング（調査票設計時／分析時、審議会の前後等）を想定していますか。	学識経験者との協議は、調査票設計時（第1回審議会前）及び調査結果の分析・報告書作成時（第2回審議会前後）の計2回程度を想定しています。なお、協議の状況に応じて、追加で意見を伺う場合があります。
④	調査対象	調査対象者データの提供方法をご教示ください（Excel等のデータ提供または宛名ラベルの支給等）。	調査対象者データについては、原則、電子データで提供する予定です。
⑤	分析	前回調査の結果データは、受託後、Excel等の加工可能な形式でご提供いただくことは可能ですか。	提供可能です。
⑥	審議会等支援	令和9年1月下旬に予定されている審議会（2回目）において、想定している資料の内容をご教示ください（単純・クロス集計の結果、報告書の素案、考察・提言部分まで等）。	第2回審議会では、単純集計・クロス集計結果、分析内容、報告書（案）及び今後の施策の方向性等を含めた内容を想定しています。
⑦	調査票の設計・作成	郵送回答とWEB回答の重複回答について重複を排除する設計としますか。または本調査が人権に関する調査であることを踏まえ、重複排除よりも回答する際の心理的な負担や匿名性を優先する設計が望ましいと考えていますか。	郵送回答とWEB回答の重複回答については、調査結果の信頼性を確保するため、重複を排除することとします。
⑧	調査票の設計・作成	仮に郵送回答とWEB回答の重複排除を行う場合、調査票に記載するIDと対象者データを紐づける設計とすることは可能でしょうか。	回答する際の心理的な負担や匿名性を優先するため、対象者データと紐づけることは想定していません。